

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	改変型チェッカーボードによる多剤耐性 <i>Pseudomonas aeruginosa</i> に対する抗菌薬併用効果の検討(B24-038)
当院の研究責任者 (所属・職位)	北里大学感染管理室 一般職 白津 和慶
本研究の概要・背景・目的	多剤耐性緑膿菌(Multi-drug resistant <i>Pseudomonas aeruginosa</i> :MDRP)は、多くの抗菌薬に耐性を示します。多剤耐性緑膿菌による感染症を発症した場合、1種類の抗菌薬での治療が困難な場合が多く、BCプレート‘栄研’ (栄研化学)という検査キットを用いて、2種類の抗菌薬の併用効果を見ながら治療薬を選択することがあります。BCプレートでは、8剤19通りの併用効果を検討することが可能ですが、それでも抗菌薬の選択肢が限られる場合があります。そのため、本研究では既存にはない組み合わせで多剤耐性緑膿菌に対する抗菌薬の併用効果を調べることを目的としています。
調査データ 該当期間	2014年4月1日から2024年3月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	北里大学病院において、2014年4月1日から2024年3月31日までの期間に多剤耐性緑膿菌が微生物検体(血液、尿、喀痰、便、腹水、胸水、関節液、膿、浸出液)より検出された患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2014年4月1日から2024年3月31日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 日常診療で検査した微生物の保管検体(血液、尿、喀痰、便、腹水、胸水、関節液、膿、浸出液)を使用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、北里大学病院職員研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としません

ので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:北里大学病院 感染管理室 一般職

担当者:白津 和慶(シラツ カズヨシ)

電話:042-778-8903